

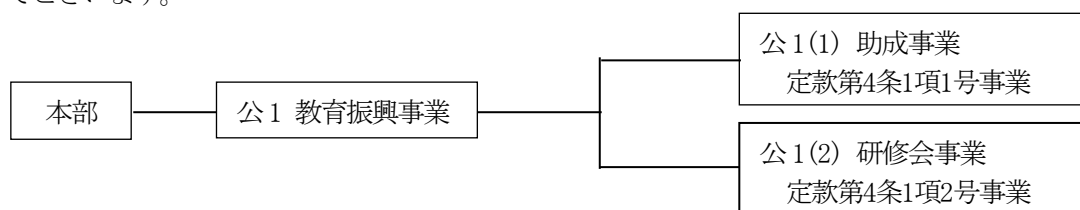
平成 29 年度
事業計画書

公益財団法人 前川財団

I. 基本方針

当財団は、下記の事業体系図のとおり、定款に掲げている、家庭・地域社会の教育とりわけ日本の伝統的・文化的な家庭・地域社会の教育の研究及び実践を支援し、また、その精神を現代の子育て・教育環境に反映させていく方策の探求及び実践を通じて、失われつつある日本型共同体の再建を図り、そこで育まれた優秀な人材を世の中に輩出していくことをもって、永続的な日本の発展に寄与し続けるという目的を達成するために、平成27年1月より公益財団法人として活動を開始しております。

以上の目的を具体化するために、当財団では、家庭や地域社会の教育に関わる基礎研究や実践活動への助成を行うことを事業の柱とし、併せて「未来教育シンポジウム」と題した公開シンポジウムを連続して主催してまいりました。平成29年度においても当該基本方針を維持、継続し、公益活動に邁進していく所存でございます。



II. 運営計画

1. 本部事務局体制

財団運営と事務局体制の一層の充実を図るために、事務局職員の増員を行います。また、現事務所の契約更新にあたり、平成29年8月1日を以って下記住所に事務所移転を予定しております。人員増強と環境整備により、今後とも万事遺漏のなき適正な事業執行に努めてまいります。

東京都江東区牡丹二丁目4番1号（住居表示）

東京都江東区牡丹二丁目15番1号（登記地番）

2. 資金計画

平成28年10月に寄付株式を受入れ、当財団の基本財産としております。今後、公益目的事業会計の予算には、この年毎の配当金を受取寄付金として充当いたします。本年度は、本配当金は、7月と12月に受領予定です。外国株式のため、為替変動が生じます。法人会計は、従来通りの指定での別途ご寄附を予定しております。時系列では以下の通りとなります。

	公益目的事業会計	法人会計
①H29年4月初旬 法人会計分		500万円
②H29年7月中旬 配当金のうち65%	3,840万円	
③H29年12月中旬 還付金25%	1,470万円	
計	5,310万円	500万円

III. 事業計画

1. 定款第4条1項1号事業

(1) 目的

家庭・地域社会の教育とりわけ日本の伝統的・文化的な家庭・地域社会の教育について研究している研究者らに対する研究助成及びこのような教育を現代の子育て・教育環境の下で実践している団体等に対する活動助成を通じ、家庭・地域社会の教育に関する研究及び実践活動の活性化を促進することを目的とする。

(2) 事業内容

① 助成金総額

2400万円程度（1件当たりの目安は50万円～100万円）

② 助成対象者

家庭・地域社会の教育とりわけ日本の伝統的・文化的な家庭・地域社会の教育の研究又は実践を行っている者。

③ 募集方法

当財団ホームページ等を通じて応募を受け付けるなど、公平性の担保される方法により広く公募する。

(3) 実施時期

- ・募集：平成29年9月1日～9月30日
- ・選考：平成29年10月中旬開催予定の選考委員会
- ・承認：平成29年10月下旬開催予定の理事会
- ・通知及び交付：理事会の承認後、速やかに行う。

2. 定款第4条1項2号事業

(1) 目的

家庭・地域社会の教育とりわけ日本の伝統的・文化的な家庭・地域社会の教育を現代の子育て・教育環境に反映させていくための取り組みとして、本分野における有識者や活動家を登壇者として招き、一般公衆への啓蒙活動を行うことにより、家庭・地域社会の教育の活性化を促進することを目的とする。

(2) 事業内容及び実施時期

第六回未来教育シンポジウム開催

◆内容：「こどもたちの「生きる力」を育む」

◆場所：公益財団法人和敬塾・大講堂（JR目白駅より都バス）

◆日時：実施時期：第6回 平成29年7月22日（土）

◆講師（予定）：（実践紹介） 安永 愛香氏 社会福祉法人どろんこ会 理事長
（実践紹介） 川越 勇藏氏 社会福祉法人吉野福祉会 理事長
パネリスト 小泉 裕子氏 鎌倉女子大学児童学部教授

第七回未来教育シンポジウム開催 12月～1月開催予定 内容未定

前回のシンポジウムに続き「実践シリーズ」を予定しております。好評を博した「伝統教育シリーズ」は、『これからの子育てを「歴史」にまなぶ』として176Pの冊子にまとめ、希望者に贈呈しております。本企画の「実践シリーズ」も同様に冊子にまとめ、一般公衆への発信として配布を予定しております。

以上